

## 地域の課題

- ①国道1号バイパス整備後の旧道の活力低下
- ・国道1号バイパス(西坂)の整備により旧道の交通量は減少。旧道沿線の静寂化した、地域の活力が低下
  - ・歩行者や自転車が共存できる環境が求められている

### ②国際的な街道観光地として安全・快適とは言い難い道路環境

- ・急カーブ・狭隘箇所が多数存在
- ・東海道の幅員が狭い(東坂)
- ・箱根峠付近の自転車の安全な走行環境が欠如
- ・外国人対応が不十分な案内サイン



交通量が多く幅員が狭い東海道

### ③慢性的な渋滞が発生

- ・観光期の箱根町内(湯本・元箱根)に人や自動車集中し、慢性的に渋滞が発生
- ・渋滞車両の間をすり抜ける自転車



### ④自転車利用者の増加に伴う受入れ態勢が不備

- ・近年の自転車ブームにより自転車利用が増加傾向
- ・ヒルクライムのメッカとしてサイクリング(自転車)を楽しむ人を受け入れる施設や自転車利用者への案内システムが不足

### ⑤箱根八里の観光資源の一体的かつ面的な広がりが希薄

- ・東海道沿線以外の魅力的な箱根八里の資源を巡り、自転車で面的な拡大に期待
- ・箱根八里の特定地域に観光客が集中し、オーバーツーリズム状態



自然・文化に触れ自転車で走りやすい道

## 実験内容

### ①安全な走行空間の創出

- 路面標示等による自転車走行空間創出
- 自転車やドライバーへの注意喚起サイン



路面表示で国道1号の旧道への誘導

自転車への注意喚起(国際対応)

### ②快適走行環境の創出

- バイクピット、撮影スポット案内看板
- バイクピットの設置・運営(表示・備品配置・情報提供)

### ③バスと歩き+自転車で周遊アクティビティ観光コースの試行

- 東海道「箱根八里」の自転車活用の試行
- ・e-bikeやスポーツバイクを活用
- ・ガイド付きサイクリングツアーの試行(ガイドやゲストハウス、ショップとの連携)
- ・路線バス車載ラック搭載のバス輸送

### ○「箱根八里プラス」周遊サイクリングの試行

- ・箱根八里沿線に接する周辺エリア(小田原・三島函南)を巡るガイドライド

### ④「箱根八里」自転車で巡る街道観光発信

- サイクリングMAP作成
- SNSやWEBを活用した魅力発信



## 解決策

### ①自転車の安心走行環境の創出

国道1号バイパス整備後の旧道への誘導策

### ②自転車の快適走行環境の創出

自転車利用者向けの案内誘導サインの整備(休憩・撮影)

### ③自転車で箱根八里周遊アクティビティの発信

(箱根八里プラスαの魅力ある地域への回遊、観光客の分散)